

報道関係各位
プレスリリース

2026年4月27日
株式会社マルチブック

グローバルクラウド ERP 「multi**book**」、累計導入企業数 750 社・累計導入 国数 40 カ国を突破

株式会社マルチブック(東京都品川区、代表取締役社長: 渡部 学、以下「当社」)は、当社が提供するグローバルクラウド ERP サービス「multi**book**(マルチブック)」について、2026年4月24日時点での累計導入企業数が750社、累計導入国数が40カ国を突破しましたことをお知らせします。

グローバルクラウドERP
「multi**book**」

累計導入社数
750社

累計導入国数
40カ国

突破!!

その他多数/敬称略、順不同

近年、経理・財務部門を取り巻く環境は大きく変化しています。海外拠点を含む会計・経営データの統合、ガバナンス強化、業務標準化、慢性的な人材不足への対応など、多面的な要件が増えています。加えて、2027年4月1日以後開始する事業年度から強制適用となる新リース会計基準への対応準備が本格化しています。

当社は、このような市場ニーズに対し、グローバルクラウド ERP 「multi**book**」 とグローバル BPO サービス「マルチブックアウトソーシング」の両軸で支援しています。

■導入拡大の背景：グローバル会計基盤の整備需要に加え、新リース会計基準対応が導入を牽引

「multi**book**」の導入が広がっている背景には、大きく2つの流れがあります。

一つは、海外拠点を含む会計・経営データの一元化・標準化への継続的な投資です。多通貨・複数帳簿・多言語環境への対応、業務標準化や業務代行（BPO）ニーズの拡大が、導入を後押ししています。

もう一つが、2027年4月1日以後開始する事業年度から上場企業等に強制適用される新リース会計基準への対応需要です。適用期限が迫る中、契約管理から月次運用・監査対応までを見据えたシステム整備が本格化しており、リース資産管理領域での導入ペースが特に上がっています。

■ 「multibook」の新リース会計基準対応のポイント

multibook リース資産管理機能は、AIによるリース契約判定を実装し、日本の新リース会計基準に完全対応したサービスです。日本拠点におけるリース資産管理や会計仕訳の作成はもちろん、海外拠点のリースに関する連結修正仕訳の作成までサポートします。

1) AI・自動設定・自動計算により、入力を最小化

AIによるリース契約判定・入力補助、少額・短期・資産計上の自動判定、割引率の自動設定や、使用権資産当初計上額、リース負債当初計上額、毎月の減価償却費、リース負債返済額、支払利息額算出も自動で行われます。また、注記情報の出力や、リース契約毎に償還票の出力も可能です。

2) 連結決算への対応（海外拠点のリース資産）

海外現地拠点では、ローカル基準の賃借処理や利子込み法で処理、本社連結では、日本新リース会計基準／IFRS基準で、売買処理（原則法）で処理といった情報をリース物件ごとに管理し、連結修正仕訳情報の自動出力が可能です。

3) 複雑なリース契約の自動化

AIによるリース契約判定・入力補助、少額・短期・資産計上の自動判定、割引率の自動設定や、使用権資産当初計上額、リース負債当初計上額、毎月の減価償却費、リース負債返済額、支払利息額算出も自動で行われます。また、注記情報の出力や、リース契約毎に償還票の出力も可能です。

4) リーズナブルな価格で最短2週間の導入期間

日本新リース会計基準に準拠した必要な機能は備えつつも、シンプルで使いやすい multibook は、最短2週間の短期導入が可能です。リーズナブルな利用料と充実の導入サポート、稼働後サポートで、安心して利用いただくことが可能です。

当社は、IFRS第16号対応で培った豊富な実績とノウハウをもとに、日本の新リース会計基準への対応機能を開発しました。実務に裏打ちされた機能が評価され、すでに63社を超える企業で導入が決定しています。また、日本拠点向けの会計仕訳にとどまらず、海外拠点のリースに関する連結修正仕訳・連

結注記情報の出力にも対応しており、グループ全体での新リース会計基準対応を支援します。

■今後の展望

当社は、新リース会計基準対応において AI 活用を積極的に推進しています。2026年3月には契約書からリース情報を自動抽出する AI OCR 機能をリリースし、4月には AI が契約内容を解析してリース識別・オンバランス判定を自動化する「AI リース判定」機能をリリースしました。これらの機能により、判定・データ入力にかかる工数を大幅に削減し、新リース会計基準対応の省力化を実現します。

また、リース管理機能にとどまらず、当社は ERP 全領域での AI 活用を推進しています。AI と ERP を連携させる「multibook-MCP」の開発を進めており、自然言語による財務データの照会・分析・仕訳生成を可能にします。同時に、BPO サービスにも AI を組み込み、定型業務の自動化とサービス品質の向上を図ります。今後も、制度対応からグローバル経営管理まで、プロダクトと運用支援の両面で経理・財務部門の課題解決を支援してまいります。

■グローバルクラウド ERP 「multibook」概要

2027年4月1日以後に開始する事業年度から強制適用となる新リース会計基準に対応。

導入が速い、処理速度が速い、解決が早い、速さを追求するグローバルクラウド ERP。

12カ国語・多通貨・複数帳簿に対応し、全世界の拠点をシームレスに統合します。製造・商社・飲食・建設など多業種にわたり、上場企業から非上場企業まで、40カ国・750社以上での導入実績があります。

主な機能：会計、ロジスティクス、固定資産管理、IFRS リース資産管理、新リース会計基準、立替経費精算、マネジメントコックピット、BPO コックピット、外部連携(連結会計、倉庫管理等)機能

サービス名：「multibook」(マルチブック)

URL：<https://www.multibook.jp/>

※対応言語（12カ国語）：

日本語、英語、タイ語、ベトナム語、韓国語、ミャンマー語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語（繁体字・簡体字）、インドネシア語

■株式会社マルチブック 会社概要

会社名：株式会社マルチブック

代表者：代表取締役社長 渡部 学

設立：2000年9月



本社：東京都品川区西五反田 1-1-8 NMF 五反田駅前ビル 5 階

海外拠点：シンガポール・タイ・フィリピン

事業内容：グローバルクラウド ERP サービス「multibook」等の企画・開発・提供

URL：<https://www.multibook.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社マルチブック 梅野

TEL：090-5209-4857 MAIL: haruka.umeno@multibook.co.jp